

「21・ろうふく」め～る

熊本「一灯苑」から

21・老福連の皆様の支援に感謝

今は、「毎日か月曜日の気持ち」です

9月9日の幹事会（ZOOM会議）で、川岳福祉会の光永理事長から、豪雨災害の経過と現状についての報告を受けました。

以下、光永了円理事長の報告（概要）です。

7月4日からの豪雨で、法人が経営する一灯苑とかわたけ保育園が球磨川の氾濫による浸水と橋の流出により完全孤立、5日間は、夜勤も含め6人体制で過しました。停電・断水もあり入居者は一時避難、ライフライン（水質検査で330万円）もOKとなり8月21日、46日ぶりに入居者も帰苑できました。

職員の自宅も浸水等の被害、橋の流失で出勤できない職員もいる中で、職員との意思統一を重視し手書きの「速報」を出した。現在は、復興に向け、「毎日か月曜日」の気持ちです。また、一灯苑が坂本町の復興の拠点になっていきます。

地震による被災もあり2度目

ですが、21・老福連の迅速な支援には、ただただ感謝です。同じ熊本県内のたくまの里の作取施設長には何度も足を運んでいたが、21・老福連事務局と連携して支援物資等の対応をしていただきました。厚くお礼を申し上げます。

作取施設長から熊本地震で8割の職員が退職したと聞き、早々に「速報」を出し連携を重視し、全職員で困難を乗り越えようと努力してきました。21・老福連からのカンパは全職員に慰労金として1万円、自宅が浸水した職員には見舞金として5万円をお渡し、職員から歓声があがりました。

復興までは時間を要しますが、今回の取り組みを次に生かすためにまとめの作業もしています。本当にありがとうございます。

**九州豪雨被災支援カンパは、
9月末で締め切りました。**

**寄せられたカンパ総額は
3,209,528円でした**

＜支援内容＞

・川岳福祉会に

支援物資 963,547円(送料含む)

義援金 200万円

・くろさき苑に お見舞金 5万円

・災害支援特別会計に、195,981円を積立てます。

みなさん ありがとう！

9月の幹事会で確認された活動計画

① 新型コロナウイルス感染症に対応できる「福祉施設・介護事業所」を実現させるために（要望）
・内閣総理大臣、経済再生・全世代型社会保障改革担当大臣、厚生労働大臣あて
② 新型コロナウイルスによる経営にかかる影響調査の実地（調査は21・老福連会員施設・事業所を対象）

※①、②は、関係団体と共同して厚生労働省交渉を予定しています。

③ 2021年度制度改定にかかわる諸問題への対応

・補足給付の研修会を11月30日、ZOOMで開催する。
・施設長・管理職研修（ZOOM会議）を2月開催する。
④ 第20回職員研究交流集会の開催（2021年）は、1月の幹事会で開催の有無を確認。

⑤ 全国の福祉介護・関係者団体との共同行動への参加など

新型コロナウイルス感染症に対応できる

「福祉施設・介護事業所」を実現させるために(要望書)

新型コロナウイルス感染症に関する緊急要望書を4月30日に政府あてに提出してきましたが、第2次の要望書を提出し、介護・福祉関係団体と厚生労働省交渉を予定しています。

2020年8月17日時点で、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生は、全国で943件、うち、福祉施設は157件(16.6%)と、厚労省のクラスター対策班が発表しました。うち、高齢者施設は101件と、福祉施設の64%を占めています。

福祉施設のこうしたクラスター発生は、緊急事態宣言が解除されてから、大幅に増加しています。

感染症罹患の危険が長期化する中にあっても、福祉施設をはじめ、医療、学校など、国民の基本的な生活を支えるために止めることができない重要な社会的インフラを維持・存続させ、機能させるためには、それに相応しい施策が必要です。

記

一 第12報にかかる臨時的な取り扱いには撤回したうえで、新型コロナウイルスに係る事業所の体制整備や支援は、すべて公費で対応してください。

二 福祉施設などで働く職員が速やかに検査を受けられる体制を確立してください。福祉施設などでのクラスターを防ぐためには、職員から利用者への感染を最大限防止する対策が必要です。職員が体調の異常を感じた時・感染が疑われる時には、速やかに公費によるPCR検査を受けられる体制を確立することを求めます。

三 高い感染リスクの中で働く職員にあつては、継続的な特別手当を支給してください。また、その財源は一般財源を使用してください。

四 コロナ禍や災害などの緊急時にあつては、当面全ての社会福祉・介護保険事業所に対し、前年同月の収入補償を行うとともに、事業所における固定経費(人件費・一般管理費等)を安定して賄えるよう、抜本的な報酬制度の見直しを行ってください。

2020年全国介護学習交流集会

オンラインで開催

コロナ禍での“介護崩壊”を許さない!

介護保険を抜本的に改正して
高齢者が安心して介護を受けられるように



日時 **2020年10月25日(日)**
13時半から16時

●記念講演
**制度発足20年の現実から介護保険を問い直す
—コロナ禍から安全・安心の介護保障を考える—**



講師：井口 克郎 神戸大学大学院准教授
いのちかつろう
神戸大学大学院人間発達環境学研究所准教授。金沢大学大学院人間社会環境学研究所。博士(経済学)。専門は社会保障論。著書に「社会保障レボリューション いのちの誓-社会保障裁判」(共著、高橋出版、2017年)など。

●現場からの訴え ●参加者の発言 ●集会宣言採択と行動提起

参加登録はこちら

ZoomウェビナーとYouTubeでの視聴が可能です。発言希望の方はZoomウェビナーへの登録をお願いします。(登録開始9月1日)



主催 **2020年全国介護学習交流集会実行委員会**
中央社保協、全日本民医連、全労連、建交労、生協労連、全労連-全国一般、福祉保育労、日本医労連、自治労連、東京地評、ホームヘルパー-全国連絡会

連絡先 全労連 〒113-8362 文京区湯島2-4-4 全労連会館4階 TEL03-5842-5611

この間の主な活動

- ・ 8月28日 老福連③事務局会議 (ZOOM会議)
- ・ 9月 9日 第2回幹事会 (ZOOM会議)
- ・ 9月30日 老福連④事務局会議 (ZOOM会議)

主な予定

- ・ 10月14日 権利としての福祉を守る関係団体集会

●事務局よりお願い

・ 国に向け、新しい福祉関係団体との共同が始まっています。政府との交渉や集会などは、21・老福連のHPにも掲載していきますので、ご確認ください。